

測点名	X 座 標	Y 座 標
T-1	500.000	500.000
	527.811	505.035
T-1-2	471.335	496.534
T-1-3	472.842	480.913

取水水路			1.0式当り
名 称	規 格	算 式	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck} \geq 18N/mm^2$	$(0.835 \div 0.91) \times 2 \div 2.50$	2.18 m ³
型 枠	無筋構造物	$(2.24 \div 2.57) \times 2 \div 2.50$	6.01 m ²
基礎碎石	RC-40 (t=20cm)	$(0.95 \div 1.45) \times 2 \div 2.50$	3.00 m ²
裏石 (t=20cm)		$(2.91 \div 2.91) \times 2 \div 2.50$	7.28 m ²

名 称		規 格	算 式	数 量	1.0式当り
コンクリート		$\sigma k \geq 18N/mm^2$	$(0.5+1.37)/2 \times 2.9 \times 5.9 - (2.0 \times 0.5+1.0 \times 0.8)/2 \times 1.0$	15.10	m ³
型 枠		無筋橋造物	$(0.5+0.8)/2 \times 1.18 \times 2 + (0.5+1.37)/2 \times 1.18 \times 2 - (2.9 \times 5.9 - (2.0 \times 0.5)/2) \times 0.244$	35.45	m ²
基礎砂石		RC-40 (t=20cm)	1.57*6.10	9.58	m ²
表石積		20cm)	$2.91 \times (0.5+0.8)/2$	1.89	m ²

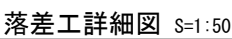
水 叩 工		1.0式当り	
名 称	規 格	算 式	数 量
コンクリート	σ ck $\geq 18\text{N/mm}^2$	$(1.753+1.174)/2 \times 2.63+1.753/2 \times 0.87+(1.5 \times 2.78+1.0 \times 2.63)/2 \times 0.5$	6.31 m ³
型 枠	無筋構造物	$(4.73+2.80)/2 \times 2.63+4.73/2 \times 0.87$	11.96 m ²
基礎砕石	RC-40 (t=20cm)	$(1.67+1.47)/2 \times 2.53$	3.97 m ²
裏石積	(t=20cm)	$(6.29+4.36)/2 \times 2.63+6.29/2 \times 0.87$	16.74 m ²

雑工			1.0式当り
名 称	規 格	算 式	数 量
拾石積	(t=20cm)	$(0.87+0.97)/2 \times 2.72 + (0.97+0.86)/2 \times 0.5 + (0.86+1.00)/2 \times 0.87 + (1.00+1.64)/2 \times 2.63$	7.24 m2



※既設暗渠（ヒューム管φ1,000mm）の流下能力（ $Q_a=5.24\text{m}^3/\text{sec}$ ）は、対象流域の流出量の約7倍となっており、十分な流下能力を有していると考えられる。現在、 $1.5\text{m} \times 1.5\text{m}$ の集水樹により暗渠へ流出する形状となっているが、斜面流域の流速が早く流下方向の悪い既設管へ流出できていないことが推測される。

※現状の対策案としては、射流水路の流速を抑止し、効率よく既設暗渠への流出を促すため、既設集水樹上部に落差工を設けることを提案致します。



Co : $1.15 \times 1.118 \times 0.30 \times 2 + (0.50 + 0.35) / 2 \times 0.15 = 0.835\text{m}$
 型 枠: $1.0 \times 1.118 \times 2 = 2.24\text{m}$
 砕 石: $(1.021 + 0.871) / 2 = 0.95\text{m}$
 裏石積: $(1.3 + 1.3) \times 1.118 = 2.91\text{m}$

(土工)	A
床掘	2.3
埋戻し	0.1
Co取壊	-

Co : $1.15 \times 1.118 \times 0.30 \times 2 + (1.00 + 0.85) / 2 \times 0.15 = 0.910\text{m}$
 型 枠: $1.15 \times 1.118 \times 2 = 2.57\text{m}$
 砕 石: $(1.521 + 1.371) / 2 = 1.45\text{m}$
 裏石積: $(1.30 + 1.30) \times 1.118 = 2.91\text{m}$

(土工)	B	B'
床掘	27.7	27.7
埋戻し	24.8	9.9
Co取壊	-	-

側Co : $2.614 \times 1.118 \times 0.30 \times 2 = 1.753\text{m}^2$
 底Co : $(1.50 + 1.00) / 2 \times 0.50 = 0.635\text{m}^2$
 型 枠 : $2.114 \times 1.118 \times 2 = 4.73\text{m}$
 裹石積 : $(2.814 + 2.814) \times 1.118 = 6.29\text{m}$

(土工)	C	C'
床掘	24.9	24.9
埋戻し	8.2	15.7
Co取壊	-	-

側Co : $1.750 \times 1.118 \times 0.30 \times 2 = 1.174 \text{m}^2$
底Co : $(1.50 + 1.00) / 2 \times 0.50 = 0.635 \text{m}^2$
型 枠 : $1.250 \times 1.118 \times 2 = 2.80 \text{m}$
裹石積 : $(1.950 + 1.950) \times 1.118 = 4.36 \text{m}$

(土工)	D
床掘	3.7
埋戻し	0.6
Co取壊	0.8

工事名	令和6年度 北町高倉地区排水対策工事		
路線名等	町道北町高倉線		
工事箇所	海陽町朝浦字高倉		
図面名	平面図、展開図、構造図		
縮尺	図 示	図面番号	1 /
会社名	株式会社 タチバナコンサルタント		
事業者名	海陽町 建設防災課		